



〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー9F
TEL 03-3503-9381
発行所 NTT労働組合ドコモグループ本部

春闘交渉もよう① ドコモ社



「春闘の意義」、「人財への投資」に労使の懸隔は無い

ドコモグループ本部は、2月26日にドコモ社との団体交渉を再開し、
①2026春闘の意義、②ドコモグループの経営状況、③人財への投資——等について、会社側の認識を質した。



組合主張

リーディングカンパニーとして
「賃上げノルム」確立に向け
社会的役割・責任を

労使の社会的役割・責任として、「賃上げが当たり前の社会」をつくることが
求められている。すべての雇用形態において物価上昇を上回る賃金改善に
より、働く人の生活向上を図ることが重要である。

会社は経営の厳しさを強調するが、顧客基盤強化やネットワーク品質向上
への投資は経営判断である。モチベーションやエンゲージメント向上につなげ
るための経営責任の発揮と事業を成長軌道に乗せるためのビジョンや経営
戦略を早急に示すべきである。

厳しい状況の中でも「中期戦略」の達成と持続的な事業成長を実現させる
ためには、組合員のモチベーション向上と人財の確保・定着に向けた、積極
的な「人財への投資」が不可欠である。



会社主張

持続的な賃上げの必要性は認
識しており、賃金改定を**実施**
できるよう検討を進めている

持続的な賃上げの重要性は認識しており、これまでも12年連続で賃金改
定を行ってきた。今春闘においても現下の経営状況や社会を取巻く環境、
事業の中長期的な観点等、様々な要素を踏まえて判断する必要がある。

第3四半期は「増収・減益」であった。その主要因は、顧客基盤強化やネッ
トワーク強靱化などの中期的な成長投資の増加によるものであり、今後の成
長に向けては不可欠な投資である。なお、修正後の業績見通しは、組合員
の賢明な取り組みにより達成が見込まれる状況にある。

事業成長の源泉は人材である。賃金改定は、モチベーション向上の観点か
ら、1つの要素と認識しており、今後も社員のモチベーション・エンゲージメ
ントの向上に向けて、労使で真摯に論議していきたい。

2026春闘の意義

ドコモグループの経営状況

人財への投資

最新情報はNTT労組アプリをチェック! >>>



Android



iOS